



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

サウジアラビア：サウド外相の記者会見

(9日付アラビーヤ衛星放送)

アラビーヤ衛星放送は、9日午後2時にジッダで行われたサウド・サウジ外相の記者会見の様態を中継した。同外相の発言内容は以下の通り。

1. サウジ国内でのデモ行為は禁止されており、デモ行為は有害である。
2. 他方、サウジ国民は意見を自由に表現する権利を有する。しかしこれは、他の権利を侵害しない限りにおいてである。対話は権利を確保するために最も適切な方法である。アブドゥラー国王は市民社会との対話を進めている。
3. 大使の召還や任命は外交機密に属するものである。
4. サウジは外部からの内政干渉は認めず、干渉する触手はすべて断ち切る。
5. 東部州カティーフ市での（シーア派）の問題は既に解決している。既に治安当局が彼らの要求を聞き、書面の形で国王に提出した。
6. イラン大統領が近くリヤドを訪問する予定はない。
7. リビアの反政府派にサウジが資金供与を行っている事実はない。リビア国民の保護はアラブ連盟の責務である。
8. GCC はリビアの飛行禁止地域の設置を支持したわけではない。